

# 8-1 西落合北エリア

大正時代の耕地整理による整った格子状の道路基盤を持つ、落ち着いた住宅地です。大きな街区割の上に、敷地面積の大きなゆとりのある低層住宅地が広がっています。一見単調に見えるまちなみには、庭先からみどりがあふれ出し生垣が連続するなど、豊かなみどりが潤いを与えているだけでなく、道路の方向や幅員、高低差などによって多様な景観が生まれています。



## 景観特性

道路景観は、庭や植栽の配置によって、東西方向と南北方向で異なっています。また、幅員によっても景観が異なっており、多様な道路景観となっています。



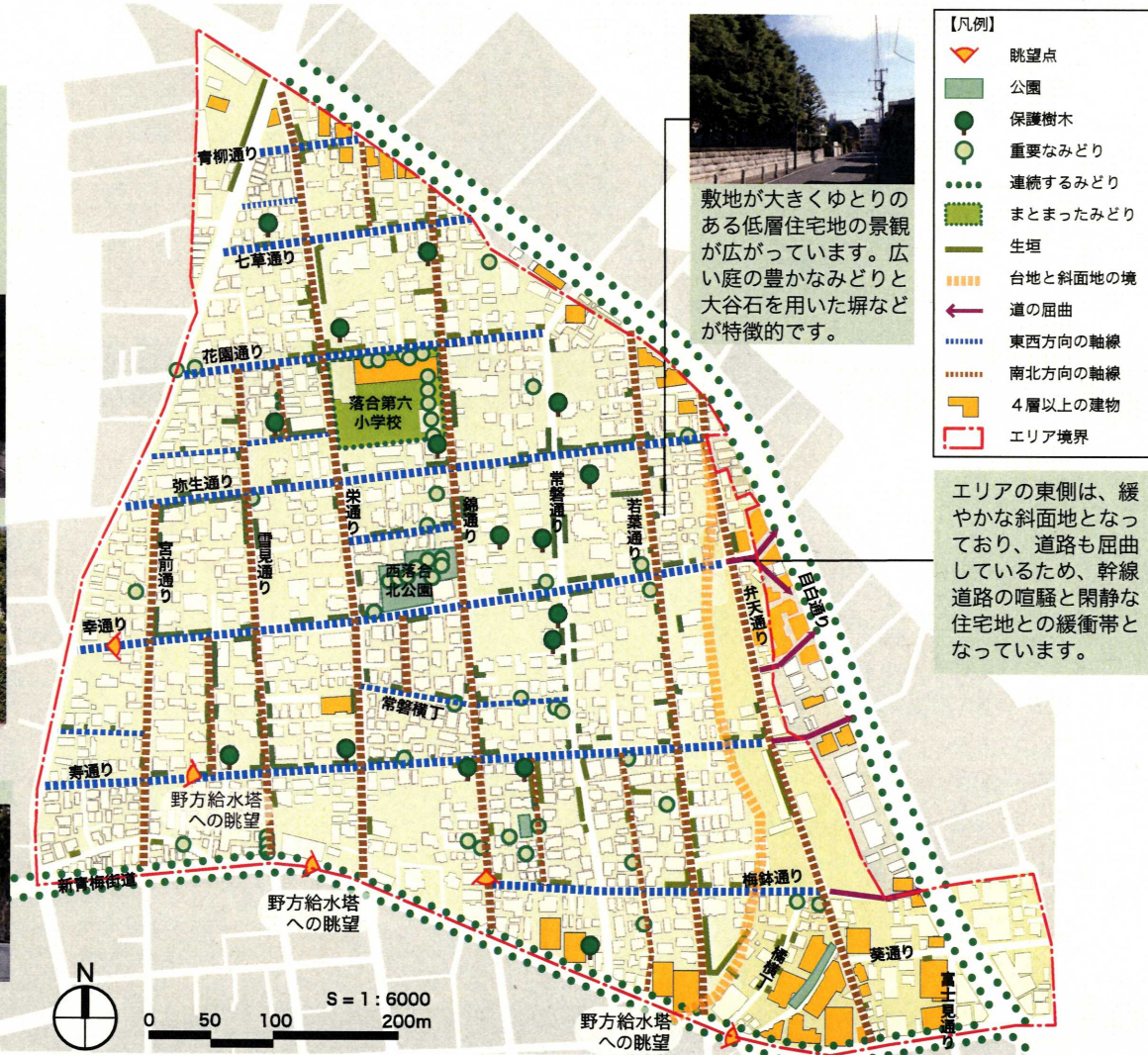
▲南北街路 東西街路▼



野方給水塔



野方給水塔



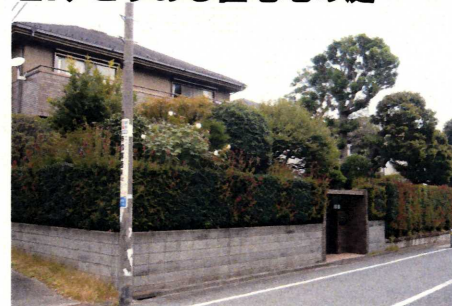
敷地が大きくゆとりのある低層住宅地の景観が広がっています。広い庭の豊かなみどりと大谷石を用いた塀などが特徴的です。

## 1. 整った道路基盤と多様な道路景観



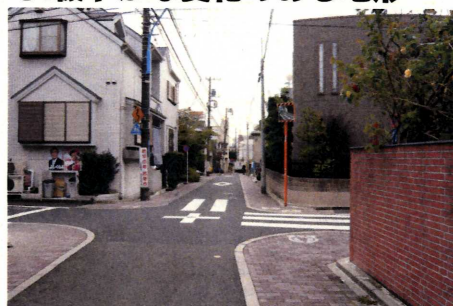
耕地整理により形成された格子状の道路基盤により、整然とした住宅地景観が受け継がれています。東西（南側の植栽が連続する）と南北（植栽と建築物が交互に並ぶ）といった道路の方向、もしくは幅員によって沿道景観は多様なものとなっています。

## 2. ゆとりのある住宅地の庭



エリアの大部分は第一種低層住居専用地域に指定されており、良好な住宅地が広がっています。敷地面積の大きな低層住宅が連続し、生垣や庭の豊かなみどりが道路にもあふれ出しています。また、塀の素材も大谷石などを用いており、落ち着いたつらえとなっています。

## 3. 緩やかな変化のある地形



エリアの東側と南側は、緩やかな斜面地となっています。この高低差と屈曲の多い道路によって、斜面地は幹線道路の喧騒と台地上の良好な住宅地との緩衝帯となっています。

## 景観形成の目標

# 格子状の直線道路をいかした豊かなみどりとゆとりの感じられるまちなみへ

整った道路基盤とゆとりある低層住宅地の落ち着きを受け継ぎながら、道路ごとの特性と豊かなみどりをさらにいかした魅力ある住宅地の風景をつくる。

## 景観形成の方針

### 1. 道路ごとの景観特性をいかしたみどり豊かな景観をつくる

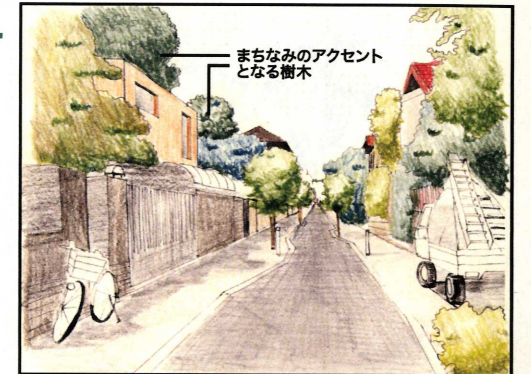
#### 景観形成の考え方

耕地整理により整った道路基盤をいかし、道路ごとの景観特性に応じたみどり豊かな景観をつくる。

#### 具体的な方策

- 敷地東側または西側が道路に接する場合は道路から見えるような位置に高木を植え、まちなみのアクセントとなるようにする
- 敷地南側が道路に接する場合は南側に庭を確保し、連続するみどりを創出する
- 敷地北側が道路に接する場合は、駐車場や設備機器の修景を緑化により行う

■道路の東西にある敷地は、樹木がアクセントとなるように配置する



道路の特性をいかした景観（南北方向の道路沿い）

■南面宅地は、道路沿いに庭を確保する



道路の特性をいかした景観（東西方向の道路沿い）

### 2. 豊かなみどりとゆとりのあるまちなみを保全する

#### 景観形成の考え方

現在の敷地規模が大きく、みどりも豊かなまちなみを将来にわたって継承する。

#### 具体的な方策

- ゆとりある敷地規模を保全する
- 景観上重要な既存樹木を保全する
- 樹木の生育環境に配慮し、透水面を確保する
- ゆとりのあるまちなみに配慮し、壁面の分節化など、圧迫感の軽減を図る

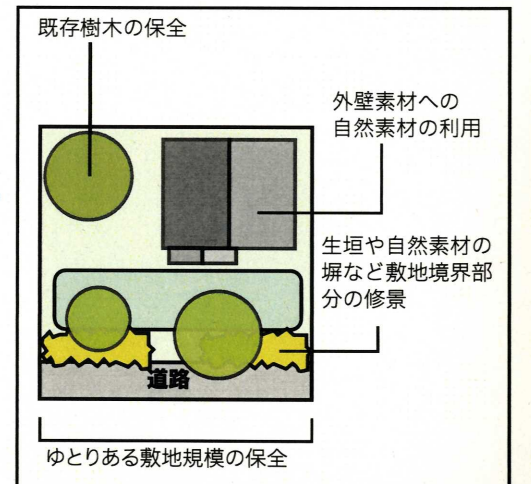
### 3. 整然とした落ち着きある住宅地景観を保全する

#### 景観形成の考え方

耕地整理によってつくられた、整えられた住宅地の落ち着いた住宅地景観を保全する。

#### 具体的な方策

- 色彩は、周囲の雰囲気になじむ落ち着いた色彩とする
- 外壁の素材は、自然素材のものを使用する
- 垣・さくなどは生垣や自然素材のものとする



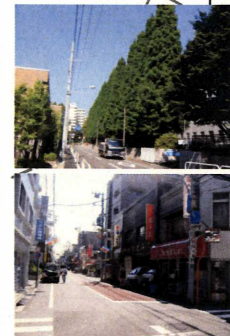
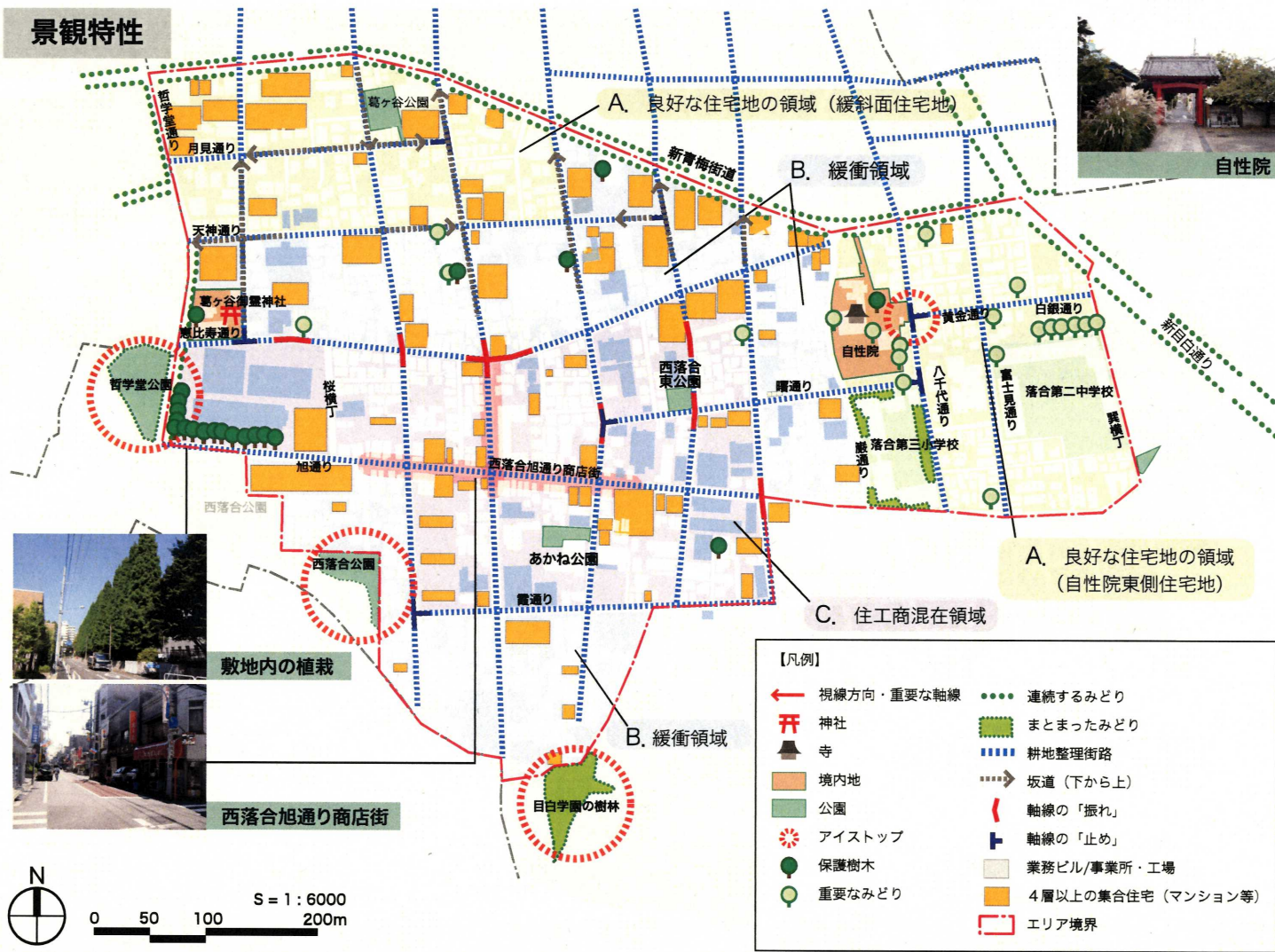
落ち着きある住宅地景観

# 8-2 西落合南エリア

大正時代の耕地整理による、整った道路基盤を持つエリアです。妙正寺川によって削り取られた緩い河岸段丘上に位置するため、緩やかな斜面地となっています。耕地整理も地形に沿って行われたため、緩やかなカーブがあります。また、早くから工場等が立地して、市街化され、規模や用途も様々で混在した景観となっています。

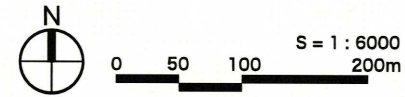


## 景観特性



敷地内の植栽

西落合旭通り商店街



### 1. 地形の高低差と整った道路基盤



西落合北エリアと一体的な耕地整理によって敷地割りがされたものの、高低差のある地形のため、道路の形状は少し変形しています。そのため、単調とならず変化のある住宅地景観となっています。

### 2. アイスストップをいかした景観



エリア内のT字路の先にある公園や学校のみどり、自性院の山門などが特徴的なアイスストップとなっています。

### 3. 業務・商業・住宅の混在



早くから工場等が立地し、市街化されました。旭通り商店街や、閑静な住宅地などもあり、業務・商業・住宅の混在したエリアとなっています。また、大きかった街区が宅地化の進行に伴い細分化され、建築物の規模も多様なものが混在しています。

## 景観形成の目標

# 緩やかな変化のある地形をいかした住・商・工が調和したまちなみへ

整形の道路基盤をベースとしながら、緩やかな高低差や、住・商・工などの機能に配慮して、個性と統一感が調和したまちなみとする。

## 景観形成の方針

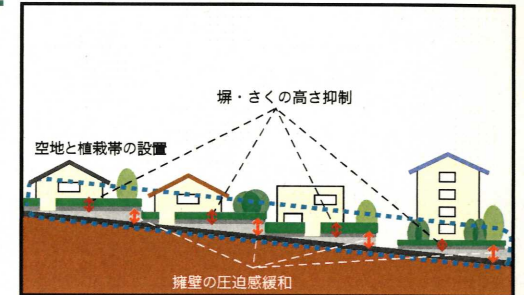
### 1. 緩やかな変化のある地形をいかした景観をつくる

#### 景観形成の考え方

河岸段丘上に位置することによる緩やかな変化のある地形をいかしながら景観形成を図る。

#### 具体的な方策

- 擁壁の上部の塀・柵は高さを抑える
- 擁壁は周囲と調和し、圧迫感を与えないものとなるよう工夫する（壁面緑化を行う、自然素材を用いる、分節化を図る など）
- 道路沿いには空地をとり、植栽帯を設ける
- 視線が集中しやすい坂の折れ曲がり部分などでは、積極的に緑化を行う



地形の高低差に配慮した景観

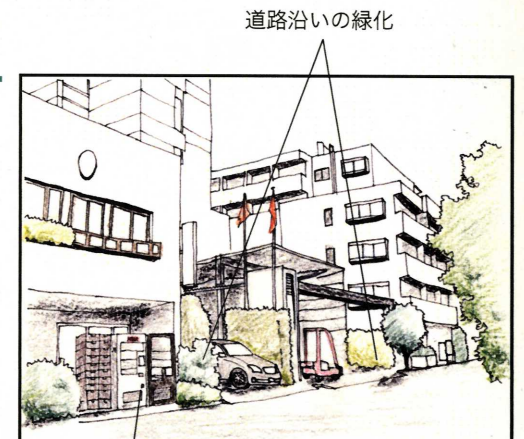
### 2. 住・商・工が調和した景観をつくる

#### 景観形成の考え方

エリア内に混在する住・商業・工業を調和させた景観形成を図る。

#### 具体的な方策

- 色彩や素材は、周囲と調和した落ち着いたものとする
- 大規模な計画では、道路沿いに十分な広さの空地を設け、樹木や草花などにより歩行者にとって明るくおおいのある景観をつくる
- 隣地境界線沿いや道路沿いでは積極的に緑化を行う
- 夜間景観に配慮して、道路沿いに照明等を設置する



住・商・工が調和した景観

色彩は周囲と調和させる

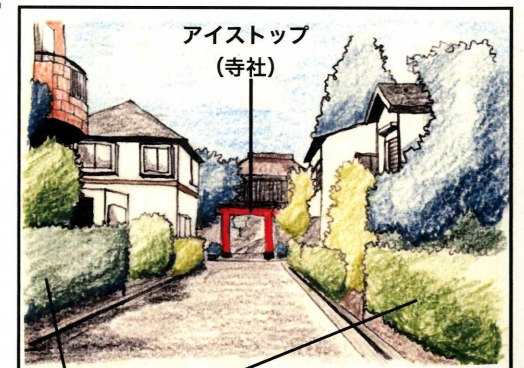
### 3. 整った道路基盤をいかした多様な住宅地景観をつくる

#### 景観形成の考え方

耕地整理による整った道路基盤やT字路をいかした落ち着いた住宅地景観をつくる。

#### 具体的な方策

- アイスストップとなる場所では、意匠的な配慮や緑化を行う
- 寺社などがアイスストップとなる道路の沿道では、連続する生垣をつくる



連続する生垣による緑化  
アイスストップをいかした景観

